

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 市民-27 市境界整備事業						
主管課	市民課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	市境界の整備を促進する。(市境界整備率90%)						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	368	378	471			
	(国・県)						
	(負担金等)	184	189	189			
	(一般財源)	184	189	282			
	人員配置数	0.8人	0.8人	0.8人			
	人件費(千円)	6,103	6,437	6,874			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	6,471	6,815	7,345			
	市民1人当りの経費(円)	36	38	41			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
市境界整備率	○	目標値	90	90	90	90	90
		実績値	83.0%	84.0%	85.0%	86.0%	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
市境界整備事業	368	市境界整備事業	508	今後の方向性	B	理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	横浜市及び藤沢市との市境界については、共同事業により、90%以上が確定しているが、逗子市との市境界は42%しか確定していないため、逗子市と協調して計画的に共同事業をしていく必要がある。						
課題解決のための取組	逗子市とは計画的に共同事業の形で市境界整備事業を進める。					取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	地権者の了解が得られない未確定場所については、了解が得られるまで境界の確定ができない。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	横浜市境界、藤沢市境界については、地権者等からの申請により対応し、逗子市との共同事業は継続する。					➡	B
	※□事業完了						

評価者名

市民課長

鶴見 俊之

